

# 助動詞す・さす・しむ

す・さす・しむ … (使役・尊敬) ↓ 未然形に接続

す	さす	しむ
せ	させ	しめ
せ	させ	しめ
す	さす	しむ
する	さする	しむる
すれ	さすれ	しむれ
せよ	させよ	しめよ
使役 尊敬		

- ① 使役 … (〜セル・〜サセル)
- ② 尊敬 … (〜ナサル・オ〜ニナル)

## ポイント

① 「す(せ)」「さす(させ)」「しむ(しめ)」の直後に  
尊敬語(給ふ・おはします)がなかったら絶対使役。

単独の「す」「さす」「しむ」は使役と覚えておこう

・ 今日、破籠持た<sup>わりこ</sup>せて来た人

・ さるは、便りごとに物も絶えず得させ<sup>たり</sup>。

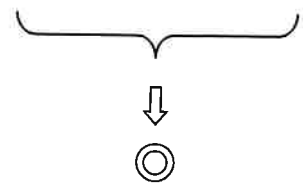
② 「す」・「さす」・「しむ」が尊敬の時は直語に尊敬語がある

ただし「す」・「さす」・「しむ」の直語に尊敬語があっても「す」・「さす」・「しむ」は使役の時もあるので注意

・御帳みちやうのうちを通らせ給ふたまは(尊敬)

・隨身ずいじんにうたはせ給ふたまは(使役)

・源氏の物語を人に読ませ給ひつつたまは(使役)



◎ 「す」・「さす」・「しむ」の上に対象を表す格助詞「に」があつたら使役と覚えておこう(「に」の上はほとんど人物)。

※ 「す」は四段・ナ変・ラ変の未然形(Ⅱ a 段)に接続し、「さす」はそれ以外の未然形(Ⅱ a 段以外)に接続。

